

～楽しい福祉を皆さんに!!～

らくふく瓦版

Vol.3



【発行】

川崎市老人福祉施設事業協会

〒213-0001

川崎市高津区溝口1-6-10 てくのかわさき内

TEL : 044-812-1231 / FAX : 044-812-2077

<http://www.kawasaki-roushikyo.org/>



【施設の周辺】



【特別養護老人ホーム 春圃苑】

東日本大震災

被災地介護派遣を体験して

介護老人福祉施設 桜寿園
相談員 和久井 純

神奈川県介護派遣チーム第1班として、宮城県気仙沼市にある特別養護老人ホーム春圃苑へ4月30日から5月5日まで行かせて頂きました。夜勤も含めて施設介護のお手伝いを行い、施設に隣接する宿舎の一室で寝袋にて泊まりました。

春圃苑は海岸の高台にあり津波の被害は免れましたが、周辺一帯は津波により壊滅した状態でした。亡くなられてしまった職員さん、家族を失ってしまった職員さんがおられることを伺い震災の現実を実感しました。心よりお見舞い申し上げます。

震災により生活が一変し、どれだけ大変だったことでしょうか。施設ではまだ水道が復旧していないこと、定員超過で受け入れた地域の要介護高齢者や自宅を失った人たちの生活など課題が山積みです。被災された方々の、これからのに向けた生活支援の重要性をあらためて感じました。

短い期間でしたが貴重な体験をさせていただきました感謝いたします。



【派遣メンバーと見送りの職員たち】



【お別れ会】

福祉施設のご紹介

社会福祉法人 セイワ 介護老人福祉施設 幸風苑

〒212-0021 川崎市幸区都町64番1
TEL:044-511-3141 / FAX:044-511-3145
URL:<http://www.seiwa-koufuen.jp/>



社会福祉法人セイワ介護老人福祉施設幸風苑は、「アットホームであたたかなケアを、誠意とまごころを込めて」をモットーとして、昭和62年に地域の拠点施設として、社会福祉施設本来の使命達成に努力することを基本理念として、事業を行ってきました。

定員は60名のご利用者が生活する2階・3階は概ね4名ずつの居室となっており、また短期入所では、6名の方を日々お迎えしております。その他にもデイサービス事業で30名の方がご利用になつています。

そのような施設での生活の一環として、今年は、年間2回の外出行事として行ってきたバスハイイクにおいて久しぶりに品川水族館へ出かけました。かわいいペンギンの前で記念撮影をしてみました。参加された方々の笑顔がとても印象的でした。

幸風苑の特徴のひとつには、丸くて白い外見の施設です。これは、ひまわりの花のように外部に向かい開かれたイメージを基に設計されました。施設全体が家族的な円いひとつの町であり、常にまわりに笑顔に向けて、いつも地域の皆様に支えられ愛され続けていきたいという願いも表わしています。

職員はご利用者それぞれの生活を支えていく中で、一人ひとりの声を聞きながら、その方々の歴史や背景に思いを寄せながら、大切に对应させて頂いています。

毎年、秋には川崎大師への参詣を兼ねて菊花展の見学を行っています。



このような、企画を行うことでご利用者の方々が楽しんでいただけるように、今後も行っていきたいと思っています。その他では、今年度はご利用者からのご希望もあり、大和市にあるNPO団体へ協力を依頼してドッグセラピーを行いました。

2頭のチワワに1頭のミニチュアダックスフントが来苑して多くの利用者と触れ合うことで、和やかな時間を過ごして頂くことができました。各フロアでは短い時間でしたが、ご利用者の一人ずつが犬を膝上に乗

せて、言葉をかけたり、優しく撫でたりとしながら、楽しい時間となりました。中には普段は表情が乏しいと思われていたご利用者の方が犬に声をかけながら満面の笑顔となり、短い時間を名残惜しむ様子が見られました。

その他にも流しそうめんなどの季節の行事食や誕生会のお食事を楽しみにしてもらえる方も多くいらっしゃいますので、単調になりがちな施設生活においても、少しでも季節を感じて頂けるよう、工夫を凝らしたお食事を提供することにも努めています。

ご利用者の皆さんが楽しく和やかに過ごしていくことが出来るよう職員一同努めて参ります。



福祉施設のご紹介

社会福祉法人 川崎聖風福祉会

ノーマ・ヴィラージュ聖風苑ティサービスセンター

〒210-0832

川崎市川崎区池上新町3-1-8

TEL:044-287-2236 / FAX:044-287-2265



外出活動にて合唱大会？です。

開設時より、救護施設・障がい者デイ（現：障がい者生活介護）・高齢者デイの三事業所で構成された「ノーマ・ヴィラージュ聖風苑」は、もうすぐ二十周年を迎えます！

周辺の環境は日本有数の工場地帯ですので、目の前の産業道路には大型トラックが電車のように連なっている走っています。

昔から鉄鋼や製油などの産業が盛んであり、職を求めて各地から労働者が集まる町として発展してきました。ですから、現在の高齢者デイに通



ディールームや浴室では、北海道から沖縄まで各地の「訛りや方言」、そしてたまに韓国・朝鮮語などが飛び交い、スタッフは働きながらにして語学を勉強することができています！？

わたるご利用者には、地方出身者の方が多く見られます。



個性豊かな風鈴を作りました！



季節の湯！

いつもと違うお風呂で気合が入っています。

私たちスタッフは、「その人らしい生活の道程」を支援する事を心がけています。その上で、専門職として自分たちの行動がどのよう「支援」に繋がっているのかを考えるよう努めています。

ご利用者の方たちは、騒音・振動・公害、そして差別など、時代や環境の荒波の中でたくましく自分らしさを確立されてこられました。



女性はやっぱり「お菓子作り」が上手です！

福祉施設のご紹介

社会福祉法人 和楽会 特別養護老人ホーム 和楽館

〒213-0022 川崎市高津区千年141-2
TEL:044-766-7660 / FAX:044-766-4980
URL:<http://www.warakukai.or.jp/~>

私たちは、生活という基本的な視点から施設を利用される入居者様が安心して快適な時間・空間を過ごせ安寧な生活が送れるよう努力してまいりました。また、地域の高齢者の交流の場として地域に根

社会福祉法人 和楽会は昭和63年2月に設立され、川崎市の中央に位置し今年で23年目になる施設です。周囲には、緑に囲まれ四季を通じて花々が咲き乱れる能満寺にも近く、入居者様のよい散策路となっています。



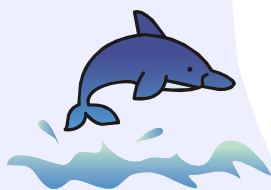
入居されている皆様が日々楽しく生活を送る為に様々な行事を用意しております。毎週行われる洗足学園音楽大学による音楽療法、毎月行われる外出・外食行事・各種クラブ活動、春には運動会、夏には納涼祭、秋に



毎年初詣には川崎大師に参拝しております

「和楽館」には、「和をもつて貴しと為、愛（藍）情をもつて日々を楽しむ」という、長年藍染の伝統技術を守ってきた初代理事長 清水源助の信条がこめられています。

ざし信頼される施設となるよう、在宅の利用者様に対する様々なサービスを提供しています。



また、健康増進企画として職員自ら企画立案し、適時ハイキング・バーベキュー・スポーツ観戦・サーフインなど様々な行事を企画し、職員同士の親睦・ストレス解消の一環として行っております。



納涼祭は野川太鼓による
演舞太鼓を披露

はバスハイク・和楽祭を用意し、入居者様が1年を通じて楽しく生活していただくように季節に応じた行事を各種ご用意しております。

福祉施設のご紹介

社会福祉法人鈴保福祉会
特別養護老人ホーム 柿生アルナ園

〒215-0021
川崎市麻生区上麻生5-19-10
TEL:044-987-0021 / FAX:044-989-1440



【アルナ園全景】

柿生アルナ園は昭和六十一年十月に開設し、今年で二十五年目を迎えます。

「介護老人福祉施設」「短期入所生活介護事業所」「日帰り介護事業所」「居宅介護支援事業所」「地域包括支援センター」を運営しております。

小田急線柿生駅から徒歩五分の小高い丘の上にあり、四季折々の眺望が楽しめます。

恵まれた自然環境のなかで、入居者の皆様は笑顔が絶えない日々を送られています。



【運動会】

また、同法人の柿生保育園との交流も、年間を通して活発に行われています。保育園児と一緒に七夕飾りを作ったり、クリスマスツリーの飾り付けをしたりと、楽しまれています。

地域町会様には、多くの行事にご協力いただいております。なかでも納涼大会では様々な模擬店が出店され、毎年多くの地域の皆様が来園されます。

クラブ活動は、華道・書道・音楽の他全部で8クラブあり、思い思いに楽しい時間を過ごされています。

アルナとはインドのヒンズー語で「暗闇を破って昇る朝の太陽」を神格化したもので、朝の曙光のように、明るく、暖かく、毎日希望をもって生活していただきたい。そして介護者も、日々新たな気持ちで援助していただきたいと願っております。

「明るく、暖かく、日々生きがい、日々新たな気持ちで」がアルナの精神です。

これからもアルナの精神で、利用者おひとりおひとりを尊重し、職員が丸となって安心・安全な介護、快適な環境のもとでの生活、さわやかな雰囲気の中での納得の得られる介護に努めます。



【納涼大会】



【七夕交流】

～楽しい福祉を皆さんに!!～

らくふく瓦版

Vol.3

第29回囲碁将棋連珠オセロ大会開催！



【開会式風景】



【入賞者集合写真】

開会は当協会深瀬亮一会长の挨拶に始まり、10回連続出場者の表彰、さらに川崎市社会福祉協議会特別賞として高齢参加者に記念品が贈呈された。選手宣誓は藤井安夫氏（みやうち）が行い、暑さを吹き飛ばす元



【深瀬会長挨拶】

平成23年6月23日、川崎市民プラザにて当協会主催、川崎市及び川崎市社会福祉協議会共催の「川崎市老人福祉施設 囲碁・将棋・連珠・オセロ大会」が開催された。今年で第29回となる本大会は、市内特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、デイサービスの入居者・利用者が、各種目において腕を競い合う、年一度のビッグイベントである。当日は30℃を超える炎天下の中50施設122名（134名エントリー）が出場し、付添い職員、来賓、ボランティア審判を含めて総勢374名の参加となった。

特に注目したのは今年より特養の部と一般の部が合併された連珠の部において、決勝戦が昨年の各部門優勝者対決となり、均衡した3度の再試合の末、4戦目を終えても決着がつかなかった。大会規定に則り雌雄を決したが、全力を出し切った両者は互いに讃え合



【表彰小関新一さん】

気な声と同時にこれから始まる戦いの緊張感が会場を包み込んだ。
特養部門と一般部門で分かれる囲碁・将棋・オセロの部は歴代入賞者及び常連者に加え多数の初出場者も交えて序盤から白熱した戦いが繰り広げられた。付添の職員らも一手一手に集中し固唾を飲んで見守り、勝敗が決まった瞬間は歓声とため息が入り混じり、まるで自分のことのように一喜一憂していた。

普段は施設で生活をする入居者、通いで訪れる利用者、現場で働く職員にとって、この大会が目的とする交流は互いに良い刺激となったと思われる。そして各々の場所へ戻り、また腕を磨いて来年再び健闘することを期待したい。



【成田部長挨拶】

閉会は、川崎市健康福祉局長寿社会部成田部長より熱戦を称賛する挨拶を頂き、その後、各部門優勝者から3位までの表彰式が行われた。成田部長より賞状・楯・記念品が一人ひとりに手渡され、その栄誉が讃えられた。



【囲碁の部優勝者齋藤松治さん】

い納得した様子で結果を受け止めていたようにみえた。

3位 長沼俊也 氏
（鷲ヶ峯）
○運がよかったです。

準優勝 本原義明 氏
（善護すえな）
○今年は楽しくやらせて頂きました。

優勝 齋藤松治 氏
（陽だまりの園デイ）
○職員が感想を求めたところ笑顔で「おう」と返答あり。嬉しいかったです。

「一般」
優勝 船橋昌明 氏
（鷲ヶ峯）
○来年も優勝します。宜しくお願いします。

準優勝 田中幸 氏
（ヒオラ川崎）
○どうも谢谢您。

参加利用者様の感想



【特養オセロの部】



【連珠の部】

～楽しい福祉を皆さんに!!～

らくふく瓦版

Vol.3

ご挨拶

健康福祉局長
木村 実

本年四月より健康福祉局長に就任いたしました、木村でございます。

川崎市老人福祉施設事業協会会員の皆様におかれましては、日ごろより、本市の高齢者福祉施策に対して御理解、御協力をいただいておりますことを、この場をお借りして御礼申し上げます。

また、3月11日に発生しました東日本大震災におきましては、貴協会会員の施設への被災地の高齢者受入や、被災地への介護職員の派遣など多大なる御協力をいただいておりますこと、重ねて厚く御礼申し上げます。

さて、本市における高齢化率は、平成23年4月現在では、全国の高齢化率23%に対して、15・89%と比較的若い都市といえますが、今後は、急速な高齢化が進展することが予想されております。そのような中、今年は平成24年度から平成26年度までを計画期間とする「第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に向け、検討を進めているところでございます。

第5期計画におきましても、第4期計画までと同様、高齢者が住み慣れた地域で安心してくらせるまちづくり、介護が必要となっても「かわさき」で暮らし続けられる支えあいのまちづくりの構築を基本目標として計画を策定し、高齢者福祉施策の推進に努めていくものでございまして、急速に進展する超高齢社会を支えるためにも、共に

支えあう地域福祉社会を実現し、市民のみなさまが安心して生活できるよう、これからも全力で取り組みでまいりたいと存じます。

今後ともより一層の御支援をいただきますようお願い申し上げますとともに、皆様の御健勝を祈念いたしまして挨拶の言葉とさせていただきます。

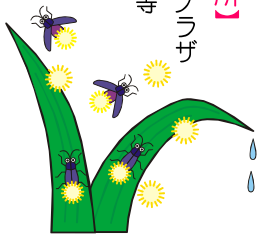
平成23年度
かわさき老人ホーム
作品展開催のお知らせ

【日時】

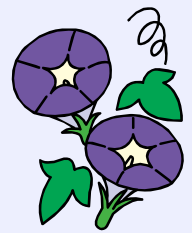
平成23年10月
4日（火）5日（水）
6日（木）
10時～16時

【場所】

川崎市民プラザ
屋内広場等



平成23年4月
開設施設のご案内



○特別養護老人ホーム
片平長寿の里

運営 社会福祉法人
川崎市社会福祉事業団
所在地 麻生区片平
一八二九
定員100名

（うち、ユニット型
個室30床）
シヨートステイ10名

○特別養護老人ホーム
ゆとりあ

運営 社会福祉法人
川崎大師福祉会
所在地 川崎区殿町
一十一一十
定員130名
（うち、ユニット型
個室30床）
シヨートステイ10名
デイサービス

編集後記

昨年度より高齢者福祉に携わる職員及び高齢者福祉に興味のある方々に対して当協会の活動を広報し、高齢者福祉を知って頂くこと「らくふく瓦版」を創刊いたしました。今年度は施設紹介に加えて当協会の文化事業、研修、人材確保対策の各委員会の活動についても広報して参ります。

当協会の特養・シヨートの他に軽費、養護、ケアハウス、デイ等を運営する市内全域の社会福祉法人が集い川崎市高齢者福祉の資質向上を目的とし活動を行っております。広報委員会編集者は、この「らくふく瓦版」を通して一人でも多くの方に楽しい高齢者福祉を知っていただき、また現場で奮闘されている福祉職員にとって励みとなることを願っております。